

事務事業マネジメントシート(平成27年度実績と平成28年度計画)

平成28年 2月12日更新

事務事業名		地下水採取量報告事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連				
総合計画体系	政策	2	緑豊かな環境と共生するまちづくり			所属部	総務部	課長名	北里 利朗	
	施策	10	水環境の保全			所属課	環境衛生課	担当者名	橋本 育将	
	施策の柱	28	地下水のかん養			所属班	環境衛生班	(内線)	1144	
予算科目	会計一般	款 4	項 1	目 7	事業連番 10205	根拠法令	熊本県地下水保全条例		成果優先度評価結果	: ⑩
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 27年度で終了 <input type="checkbox"/> 27年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)			

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	県が地下水保全対策のため採取量の把握を行なうことに対して、報告書を取りまとめ県(菊池保健所)へ報告する。県の事業であり、委託を受けて行なっている。対象者及び井戸数は減少傾向にある。井戸所有者の協力が難しい。
【業務の流れ】	井戸所有者(使用者)へ報告書の送付、報告書の再送付(未提出者)、事情聴取、報告書を取りまとめ県(菊池保健所)へ報告
【主な予算費目】	役員費
【意見や要望】	特になし

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 27年度実績(27年度に行った主な活動) (DO)	井戸所有者(使用者)へ報告書を送付し、報告書の取りまとめ、事情聴取等実施し県(菊池保健所)へ報告した。報告書提出件数(提出率) 207件(88.5%)	28年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
井戸所有者(使用者)へ報告書を送付し、報告書の取りまとめ、事情聴取等実施し県(菊池保健所)へ報告した。報告書提出件数(提出率) 207件(88.5%)		井戸所有者(使用者)へ報告書を送付し、報告書の取りまとめ、事情聴取等実施し県(菊池保健所)へ報告する。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 件	予算の主な増減の理由
→ ア: 報告件数	→ イ:	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
地下水採取者		(単位) 本
		→ ア: 総井戸数
		→ イ:
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
地下水の採取量を把握する		(単位) %
		→ ア: 報告書の提出数/報告書の送付数
		→ イ:
*③成果指標設定の理由と28年度目標値設定の根拠		総トータルコスト全体計画 ~ 年度
成果指標設定の理由: 提出率の割合が多いほど採取量報告が適正にされた事になるため。		0
目標値設定根拠: 現時点での届出総数		

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	25年度実績(決算)	26年度実績(決算)	27年度目標(当初予算)	27年度実績(決算)	28年度目標(当初予算)	29年度予定	30年度見込	31年度見込	
① 活動指標	ア 件		207	213	230	0	230	230	230	230	
	イ										
② 対象指標	ア 本		234	241	241	0	241	241	241	241	
	イ										
③ 成果指標	ア %		88.5	88.3	96	0	96	96	96	96	
	イ										
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	人件費	一般財源	千円	40	40	41	41	41	41	41	41
		(A) 事業費計	千円	40	40	41	41	41	41	41	41
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	6	4	4	0	4	4	4	4
延べ業務時間	時間	138	359	200	0	200	200	200	200		
(B) 人件費計	千円	549	1,430	796	0	796	796	796	796		
トータルコスト(A)+(B)	千円	589	1,470	837	41	837	837	837	837		

事務事業名	地下水採取量報告事業	所属部	総務部	所属課	環境衛生課
-------	------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は27年度の事後評価、ただし複数年度事業は27年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①27年度目標達成度評価	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 報告書の提出がない井戸所有者がいた。引き続き報告書提出のお願いをして行く。
	②28年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 通知を出しても返信がない所有者がいるため。(所有者の内々での変更なども考えられる。その際、報告義務があることの引継ぎがうまくいっていない)
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 井戸所有者、地下水採取者に十分納得してもらい、報告書の提出をもらう。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 類似事業がない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 郵送料のみであり削減はできない。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 正職員以外の職員でも可能。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 地下水を採取している方に報告書を提出していただくことで、熊本地域の地下水の状況が把握でき、対策を講ずること可能になるため公平である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 熊本県地下水保全条例に基づく事務のため役割分担は適正である。

3 評価結果の総括 (CHECK)

報告率が横ばいであるため、報告する人とならない人で分かれていると思われる。報告がない人に対しては行政側からの更なる働きかけも必要ではないかと思われる。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																						